

杉山ゆきお後援会だより

第16号

http://fussa-net.gloomy.jp/

平成24年1月25日 発行編集者：上村 喬

二期目の市議会議員活動に

誠心誠意取り組んでいます。



杉山ゆきお後援会の皆様、支持者の皆様。日頃より、私、杉山ゆきおの議員活動に一方ならぬご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

現在、私は皆様方の力強いご支援を糧として、二期目の福生市議会議員活動に誠心誠意取り組んでいます。議会では、横田基地対策特別委員会委員長、常任委員会の総務文教委員として、円滑な委員会運営を司り、真剣な議論と議案審査を続けています。また、西多摩衛生組合議長として近隣市町村との円滑な事業協力の維持にも努めています。

平成二三年十二月定例議会の一般質問では、防災行政無線「防災福生」の難聴地域の解消を主に取り上げました。福生市は一般質問の中で私が提案した「難聴地域調査」の実施について、即、検討に入り、早速、その予算措置を含む補正予算が本年早々一月十三日の臨時議会に提出され、実施が決まりました。私の提案が難聴地域の解消と、ひいては福生市の防災対策の拡充につながる道筋ができたと思っております。

十二月定例議会一般質問

杉山 福生市の防災対策の拡充・強化については、機会ある度に質問してきた。平成二十年十二月議会において、当時の防災行政無線の難聴地

域の状況や対策を質問したが、先の東日本大震災後、計画停電についての放送が聞こえないという声を多く聞いた。防災行政無線をデジタル化しても難聴地域の解消はできていないのではないか。実態把握する必要があるのではないか。

公約実現

熊川地区の道路二ヶ所の雨水対策工事

杉山議員の公約「安心・安全なまちづくりのための施策・雨水対策の強化」の一つが実現しました。熊川地区の790番地付近と888番地付近の二ヶ所では、雨が降るたびに道路が浸水、水没していました。杉山議員は近隣住民の要望を聞き、この地域の雨水対策を市に働きかけてきました。今般、790番地先の工事は完了し、888番地先の工事も始まり、一月末に完了する予定です。これで、大雨や集中豪雨時にも安心して暮らせるようになりました。



熊川 888 番地付近の雨水対策工事

市長 福生市の防災行政無線は平成二十年にデジタル化され、屋外子局である放送塔は全50箇所、その設置率は多摩地区では一番多い。デジタル化により難聴地域の解消が図れたと考えているが、緊急一斉放送では隣接のスピーカー同士でエコーを起こし聞きづらい場合もある。スピーカーの向き、音量調整等の対応を行っている。東日本大震災後の東京電力の計画停電の際には、防災行政無線が聞き

取りにくいという問い合わせが市内各所からあったので、杉山議員ご指摘の難聴地域周辺の音量調査や設置場所の可否の確認などの実施を準備中である。

杉山 難聴地域の解決策の一つとして、戸別受信機の設置が有効と考えるが、戸別受信機を難聴地域の所帯へ貸与する考えはないか。

市長 戸別受信機については、市の戸別受信機貸与規定に該当する、市議会議員、行政協力員(町会長など)、消防団幹部、市内在

住の市管理職以上等に貸与している。今後、福生市内の崖地「はけ」が東京都の「土砂災害特別警戒区域」に指定されることにより、当該区域内に住む所帯への貸与を検討している。その他、杉山議員ご指摘の、市からの緊急情報の確保がどうしても困難な所帯には、戸別受信機の貸与も検討していかねばならぬという考えである。

災害時公衆電話の増設は？

杉山 総務文教委員会の長岡市の視察で、市の防災担当者より中越地震時の際、公衆電話が災害時の通信に威力を發揮したとの体験談を聞いた。災害時の公衆電話の通話規制は、固定電話に比べて比較的緩やかで、つながりやすいと聞いている。福生市として災害時通信を想定した公衆電話をどう考えるか。

市長 N T T 東日本に問い合わせたところ、福生市内の公衆電話91箇所、主に、駅、公共施設、コンビニ等に設置されている。東日本大震災の際は携帯電話がつかえず、公衆電話に殺到し

た経過を承知している。N T T 東日本に、今後、駅等への公衆電話の増設計画について確認したが、費用対効果の関係もあり、現在のところ予定はしていないとのことである。

災害時の避難所での情報収集

杉山 福生市内の一時避難所として28箇所が指定されているが、視察した長岡市では災害時の情報収集のため避難所に電話機、パソコン、テレビの端末を設置し、避難所の不安解消に役立ったと聞いた。福生市の避難所での情報収集の現状と対策について伺いたい。

市長 市内各小中学校は、一時避難場所であり、避難所としても指定している。各小中学校の敷地内周辺には防災行政無線の放送塔が設置されており、双方向の受信機能を持っている。避難所を開設した際には、災害対策本部との無線のやり取りができる。さらに、各中学校には災害時用の特設電話も配備しており、災害時には威力を發揮すると考えている。

福生市の広域避難所は多摩川河川敷沿い。大地震と水害の同時発生時に有効か。

杉山 福生市も大規模な災害に備えて「広域避難所」の指定をしているが、その場所全てが多摩川の河川敷沿いである。大地震と水害（ダムが決壊等）の同時発生も考えられる。そのとき、現在指定の広域非難所が有効に機能できるのか、東日本大震災で「想定外」ということでは済まされない経験をした今、最悪を想定した対策を講ずるべきではないか。広域避難所は今の場所以のいいか。

市長 大地震と水害が同時発生したときの避難場所だが、大地震により小河内ダムの決壊を心配されている市民もいる。小河内貯水池管理事務所によれば、ダムの耐震性調査を行った結果、阪神淡路大震災クラスの震度7クラスの地震に対しても安全であることを確認、さらにダムの壁の厚さは、水を堰き止めていける一番下の部分が131メートルあるため全面決壊は考えにくいとのことであった。

福生市として、多摩川沿い広域避難場所の指定については、今後の国、東京都の防災計画の見直しを踏まえて検討していきたい。

片倉跡地を広域避難所に指定する考えはないか。

杉山 片倉跡地は都有地でもあり、現在は建造物もない。状態避難場所としては適当と思う。広域避難場所に指定する考えはあるか。

市長 片倉跡地の広域避難場所の指定についても、今後の地域防災計画を見直す中で東京都と相談してみたいと考えている。

災害時の防災情報の発信について

杉山 災害時には様々なチャンネルの情報発信が必要である。現在の媒体の他にどのような情報発信を考えているか。

市長 現在運用中の「福生情報メール」に多くの市民の登録と利用を促したい。災害時、臨時FM局の開局などについても勉強していきたい。